

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつながりが日常的に行われていないため、特に地域の高齢者との交流が持てていない。開所以前に行っていた地域の高齢者との交流会「さくら」が中止になっている。	地域交流会「さくら」の復活を通して地域の高齢者との交流を深める。	1、月2回(月曜日)、地域の高齢者を招待し一緒に昼食を食べる。 2、カラオケやゲームなどを地域の高齢者と一緒に行い楽しむ	1年
2	3	地域に貢献する取り組みが不十分で、利用者が地域に出て行って交流する機会が少ない	利用者が積極的に地域で活躍できる場を作る	1、月1回地区のゴミステーションの周りの掃除 2、利用者に雑巾を縫ってもらい地域交流センターに寄付 3下校の子供たちに「おかえり」の声掛け運動の実施	1年
3	34	応急手当や初期対応についての訓練が不足している	1、応急対応や初期対応がどの職員でもできるようにする	1 消防署の職員に来てもらって、応急処置の仕方を学ぶ。 2 誤嚥や痰の吸引の仕方を看護師から学ぶ	3ヶ月
4	1	事業所の理念の周知と理念に基づいたケアが実践されていない	1、理念の学習とケアの内容の再考を行う	1 理念の確認 2 職員の利用者体験の実施 3 体験を通して再度ケアの内容を職員全体で確立する	6ヶ月
5	19	家族との連携を通じたケアの実践が不足している	1家族会の設立を行う	1 家族会設立に向けた会議を行う 2 行事などへの協力を依頼する	1年

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。